

受験生応援ゆるみ止めねじプレゼント 新たな仕掛けを加えたキャンペーンとして 今年度も募集を開始しました

当社の樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を「ゆるまない＝集中力持続、実力発揮」のシンボルとして受験生にプレゼントするキャンペーンは、2014年12月からスタートし、これまでの7年間でのべ3万人以上の方にお贈りしてきました。

受験生本人からだけでなく、単身赴任のお父さんが娘にエールを送りたいと海外からご応募されたり、おじいちゃんやおばあちゃんが遠くで暮らす孫のためにプレゼントしたいと応募されることも多く、当社のねじが受験生の励みになり、家族の絆を深めるツールになっていることに、従業員一同、誇りと大きな喜びを感じています。

当社は企業間取引のいわゆるBtoB企業ですが、この受験生応援ねじを通してエンドユーザーと直接関わりを持つことができ、また多くの方に「ねじ」の大切さを訴求することで、当社のブランド価値向上にもつながっています。

今年は脱プラ、SDGsを意識した応援ねじ!

本年度も同キャンペーンの募集を開始いたしました。ゆるみ止めねじギザタイトを特別加工。12月、1月、2月と3回に分けて各回先着100名にプレゼントする大枠については例年通りですが、今年はプラスチックフィルムの包装袋を取りやめて神社の鳥居を模った紙パッケージ(台紙)に変更。頑張る方を応援するなかで、当社自身も「挑戦」として脱プラ・環境負荷低減を意識したパッケージ刷新に取り組みました。

台紙に印刷されたQRコードの読み取りから、当社のキャラクター・ねじとくんの応援動画が

見られることに加えて、本年度は「私の挑戦」をテーマにした言葉、メッセージを書きこんでいただける専用フォームを用意しています。受験への思いや決意、あるいは受験だけでなく、その先を見据えてやりたいこと、将来、就きたい職業、弁護士になりたい、科学者になりたいといった目標や夢を語っていただき、皆でその熱い思いを共有できれば、頑張る姿や思いがより多くの人の励みになればと願うものです。

高校や大学などの入学試験だけでなく、資格試験や免許取得など、幅広い層の方にご応募いただいています。第1回の12月1日応募受付開始分は予定数に達しましたが、第2回2022年1月5日、第3回2月1日の応募受付はこれからとなります。身近なところに「受験生」がおられる方は、ぜひ本キャンペーンをご紹介ください。



ギザタイトを受験生用に特別加工

- ★「ゆるまない」は集中力持続・本番での実力発揮の願いを込めて
- ★「ごうかく≡ごかく」でねじ頭部は「五角形」。「祈成就」の刻印も
- ★「金色」加工は光輝く成功のイメージ
- ★「アルミ」製で軽量。リラックスしてプレッシャーに打ち勝つ!
- ★「AR機能」で当社キャラクターのねじとくんもエールを送る
- ★「赤色」専用袋や「鳥居」のパッケージは挑戦、活力、前向きをイメージ
- ★「私の挑戦」。受験に懸ける熱いメッセージを大募集!



秋の叙勲で当社社長材木正己が 「旭日双光賞」を受章しました



令和3(2021)年秋の叙勲で、当社代表取締役社長材木正己が「旭日双光賞」を受章しました。材木は経営者として、一部上場企業である当社を安定成長させ、それを通じて地域貢献・社会貢献をしております。また、国や京都府、綾部市などいくつもの業界団体の役職を歴任。たとえば京都工芸繊維大学の経営協議会委員や京都経営者協会副会長、綾部市の防犯協会会長などを務め、地域の発展、人材づくりに積極的に関わってきたことなどが高く評価されたものです。

「受章の栄に浴し身に余る光栄に存じます。もちろん、私ひとりの力によるものではなく、諸先輩が築かれた礎があってこそのものであり、また従業員やその家族、あるいはお客様などさまざまな方々の方とのつながりのなかでいただけたものです。これまで関わってきたすべての人、モノに心から感謝申し上げます。勲章をいただいたことを誇りとし、ますます身を引き締めて、これを励みとし、これからも『従業員・お客様・地域との絆』を大切に社会のお役に立っていきたいと思っています」(材木正己)。

これまでの受彰(認定)歴、取り組み内容など

2018年	京都府産業功労者表彰 [京都府] 地域振興
2019年	えるぼし認定 [厚生労働省] 女性活躍推進
2019年	特例子会社「日東精工SWIMMY株式会社」設立 障がい者雇用の推進 (障がい者雇用率86%)
2020年	くるみん認定 [厚生労働省] 女性活躍推進
2021年	スポーツエールカンパニー [スポーツ庁] 健康経営の推進
2021年	健康経営銘柄2021 [東京証券取引所] 健康経営の推進
2021年	健康経営優良法人2021 [ホワイト500] [経済産業省] 健康経営の推進
2021年	あったか子育てきょうと表彰 [京都府] 子育て支援

日東精工グループ紹介 ———— 松浦屋株式会社 / 東京(本社)ほか国内7、海外1拠点

感謝の心を基本に100年企業を目指します

昭和9(1934)年に創業者である小島兵太郎氏が、三井物産を退社して創立した個人商店「松浦屋商会」がはじまりです。現在は主にファスナー製品(締結部品)や産業用機械装置、表面処理装置などを扱う商社として、北は北海道苫小牧市、南は兵庫県姫路市と国内7拠点、また香港にも拠点を置いて、お客様の信頼・絆を積み重ねています。

日東精工の関東での販売代理店1号(昭和32年)であり、日東精工グループとして、より緊密な関係を構築しています。松浦屋の売り上げにおいて、日東精工関連製品比率はお客様との関係やそのときどきの状況で変わりますが、樹脂、ダイキャストといった各素材に合わせたねじはもちろん、ねじ、ねじ締め機の両面を考慮し最適組み合わせをご提案するなど、日東精工とのつながりを技術提案力の強化に活かしています。

「令和元年に創業85周年を迎えることができました。

100年企業を目指し、まずは2025年までのロードマップをつくりました。感謝の心、真摯な活動といった基本理念は維持しながら『一流』を目指します。従業員のPDCAサイクルの可視化や営業所間・従業員間での連携強化により、提案力の向上を図っています。大切に培ってきた人脈やグループネットワークを活かして、製品群、事業領域も日々拡大中です。専門商社としてより良い姿を追求しながら、お客様を第一として強みを発揮していきたいと考えています」(人見昌伸社長)。



医療分野やトラック輸送機器関連などの取引先がメイン。商社が介在することで付加価値をいかに提供できるかに注力し、入荷製品の徹底したチェック体制による品質管理を行っており品質不具合ゼロを目指しています

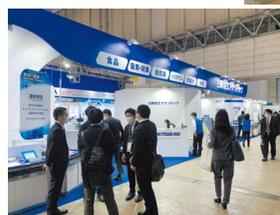
NSAが「ASSEMBLY SHOW 2021」に出展

10月26日から28日までの3日間、アメリカ・イリノイ州ローズモント「Donald E. Stephens Convention Center」で、最新の組立技術や製品が展示される「ASSEMBLY SHOW 2021」が開催され、当社の現地法人「NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION (NSA)」も出展しました。産機事業部のねじ締めロボット、ハンディねじ締め機、ねじ供給機、またファスナー事業部からはギザタイト、タップタイト2000などを出展し好評を博しました。



日東精工アナリテックが「JASIS2021」に出展

11月8日から3日間、幕張メッセ国際展示場で分析・計測に関するアジア最大級の展示会「JASIS2021」が開催されました。この展示会に当社グループ会社である日東精工アナリテック株式会社も元素計、水分計をはじめとする多彩な分析・計測機器を出展。新製品である自動滴定装置、微量元素分析装置、自動粉体測定システムのほか、日東精工からもマイクロバブル洗浄装置とスーパーロータリ流量計を出展しました。



「子育てにやさしい企業部門」受賞

当社は、ワークライフバランスの実現を目指し、従業員の働きやすい職場づくりに注力していますが、今般「きょうと子育て環境日本一サミット」の「令和3年度あったか子育てきょうと表彰」において、「子育てにやさしい企業部門」で受賞を果たしました。



当社では育児短時間勤務制度の小学校3年生年度末までの延長や、出生時から14日以内で3日間の休暇を取得できる「くるみん休暇」の制定、あるいは男性従業員の育児休業取得推進など、子育て支援制度の拡充を行っています。今回の受賞は、これらの制度拡充や制度活用の実績が評価されたものであり、引き続き柔軟で働きやすく、仕事と生活を両立できる環境づくりに努めてまいります。

世界に挑戦する社員を応援し続けます

当社産機事業部従業員の岩崎拓夫がパラグライダー世界選手権大会の代表選手に選ばれ、壮行会を開催し、競技用ヘルメットなどを贈呈したことは前号でご紹介しました。10月31日から11月13日までアルゼンチンで行われた「第17回FAI世界パラグライダー選手権大会」で、岩崎を含む日本チームは、天候に恵まれず忍耐を要するレース展開のなか、38ヶ国中17位に輝きました。当社では日本だけでなく、世界を転戦、チャレンジしていく岩崎選手をこれからもサポートし続けます。





今に集中することで、つながりを知る

岡 潔といえは数学者であり、歴史、宗教、文学に精通した稀代の学者でしたが、文芸評論家の山本健吉との対談では仏教の「大円鏡智」を紹介していました。

かつて山崎弁栄上人という高僧は、分厚い自然科学書を手渡されたとき、本の背を左手で持ち、反対側のページがむき出しになっているところに右手親指を当ててページを弾いただけで、一瞬にして内容を理解したといえます。実際、その本をベースにした質問に淀みなく答えることができたそうです。知識の積み重ねではない別次元の受け取り方、今に集中して第2の心で大きく読み取る、それが「大円鏡智」というわけです。

たとえば、はじめてお会いする方がいるとしましょう。もちろん、事前にその方がどのような方なのか、肩書や役職、経歴、結婚されているのか、お子さんはおられるのか、趣味はなにか、ゴルフはされるのか、お酒は好きなのかといった個別の情報を得ていれば打ち解けやすいか、座持ちがいいということもあるでしょう。でも、そういった事前情報がなくても、真摯に相手に向き合えば、自分の経験値や自分が磨いてきた感性・感度を通して、波長が合うかどうかとか、共通の着地点を見いだすことができるでしょう。そこに予期せぬ発見があり、喜びが生まれることもありますね。

今の時代はDX（デジタル変革）で、ビッグデータをどう使いこなすかが大事といわれますが、このビッグデータは数の多さだけでとらえるものではありません。たとえば、材木正己という個人の情報を積み重ねても、材木正己の人となりの理解が深まるわけはありません。他のデータとのつながりのなかで、情報の取捨選択がなされて、そのとき々に相応しい、材木正己

像が紹介されるわけでしょう。人と人との出会いに関しても「マッチングアプリ」などコンピュータ、AIが介在しお膳立てをする時代です。もちろん、たくさんデータを瞬時に関連付け、より相応しいものを導いていくことは、ビジネスにおいても重要なことですし、これからはその精度が更にどんどん良くなっていくのでしよう。

しかしながら、こういった時代だからこそ「大円鏡智」も大事にしていきたいと思えます。これはたくさん情報

でなくても本質を見抜く感性、少し乱暴な言い方をすれば「二を聞いて十を知る」にも通じるでしょうか。今年は、聖徳太子生誕1400年だそうですね。聖徳太子は七人の話を同時に聞き分け理解できたといわれますが、これも「大円鏡智」につながるのかもしれない。

上述の山崎上人のレベルまで達するのは難しいでしょうが「大円鏡智」に少しでも近づくために、これから人と人との出会いを心から大切にしていきたいと思っています。

連載44

あやべ ちょっと寄り道

ドライブスタンプラリーで
プレゼントをゲット!

日東精工が本社をおく京都府の綾部市をはじめとする「大丹波地域」（兵庫県2市・京都府5市町）が、ドライブスタンプラリーを開催中です。「歴史景観・特産品販売コース」と「体験コース」の2つのコースが用意されていて、（見て・食べて・体験して、）スマートフォンでスタンプを集めて応募すると、抽選で大丹波地域の特産品のプレゼントがもらえるというものです。2022年1月31日（応募締めきりは2月7日）まで。

